

# 環境管理活動の沿革

1935年	川崎工場設立時、初代吉村社長の提言により公園様式を取り入れる	1995年	環境マネジメントシステム委員会発足 富士通りサイクルシステム運用開始 海外グループ環境問題連絡会議発足
1972年	各工場に環境管理課設置	1996年	第2期富士通環境行動計画策定 イントラネット「環境技術推進センターホームページ」開設 化学物質排出削減委員会発足 環境活動報告書初版発行
1987年	オゾン層保護対策委員会発足	1997年	ホームページ「環境のコーナー」開設 国内全製造工場にてISO14001認証取得完了
1989年	環境対策委員会発足	1998年	タイで植林活動 グリーン製品発表
1990年	環境管理評価システム実施	1999年	環境会計制度の導入 ベトナムで植林活動
1991年	環境技術推進センター発足	2000年	国内開発・サービス4事業所にてISO14001認証取得完了 環境本部発足 第3期環境行動計画策定(予定)
1992年	富士通環境憲章制定 洗浄用フロン、四塩化炭素全廃 省エネルギー対策委員会発足		
1993年	製品再資源化委員会発足 廃棄物対策委員会発足 第1期富士通環境行動計画策定 製品環境アセスメントガイドライン実施 関係会社環境問題連絡会議発足 環境情報サービス(FJ-CUG)開設		
1994年	環境広報誌エコプラザ創刊 1,1,1-トリクロロエタン全廃 第1回富士通グループ環境技術展開催 環境シンボルマーク制定 海外環境情報ネットワーク運用開始		

## 用語説明

### 1. ISO 14001

International Organization for Standardization(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System)に関する規格。環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与えるというもの。

### 2. サ - バイランス審査

1年ごとに環境マネジメントシステムの有効性と改善向上の事実を確認するための審査のこと。

### 3. 環境パフォーマンス評価

EPE( Environmental Performance Evaluation )とも呼ばれる。組織の環境行動、実績を定性的・定量的パラメーターを使って評価すること。

### 4. グリーン調達

環境への負荷が少ない部品・部材を優先的に調達すること。

### 5. LCA

Life Cycle Assessment(ライフサイクルアセスメント)。製品の一生を通じて、環境にどのような負荷をどの程度かけているかを定量的に評価する方法。

### 6. PRTR法

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減を図る。2000年3月より施行。PRTRとはPollutant Release and Transfer Registerの略。

### 7. コ - ジェネレ - ションシステム

エンジンやタービンの動力によって発電を行うと同時に、排熱を利用して給湯や冷暖房を行い、エネルギーを効率良く使うシステムのこと。

### 8. モーダルシフト

環境保全(CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出抑制など)や省エネルギーのため、貨物輸送をトラックから大量輸送のできる鉄道や海運などに移していくこと。